

多重制約条件下での地盤改良工法の検討

要旨

本工事は、主要地方道に歩道を新設するものである。新設する歩道は、JR 東北本線と既設道路間の狭隘箇所に拡幅盛土を行うものである。また、当該区間は軟弱地盤であり、軽量盛土工法の選定を行ったが、自然水位が高く、浮力の影響を受けることから軽量盛土工法では施工が困難である。

そのため、複数の現場条件がある中で課題を抽出し、それらを解決する地盤改良工法の検討を行った。本稿では、様々な制約を受ける条件下での地盤改良工法の検討について報告する。

